

◆東京都 VOC 対策ガイド [建築・土木工事編] (令和3年2月版) 改訂内容一覧◆

①目次

ページ	変更箇所	変更前	変更後	備考
i	第2章 建築塗装 2.1 金属系素地面塗装 (鉄鋼面)	2.1.2 合成樹脂調合ペイント塗り(鉛・クロムフリー仕様)	----	削除
i	第2章 建築塗装 2.1 金属系素地面塗装 (鉄鋼面)	2.1.3 弱溶剤系耐候性塗料塗り	<u>2.1.2</u> 弱溶剤系耐候性塗料塗り	
ii	第4章 構造物 (橋梁・鋼材)	4.2.2. 超低 VOC 塗装(内面 新設)	----	削除
iv	第2章	石工事・タイル工事	タイル工事・石工事	
v	参考資料	---	第6章 改訂履歴 6.1 改訂第2版発行(平成27年3月) 6.2 改訂第3版発行(令和3年2月)	新規追加

②本編

ページ	章	変更箇所	変更前	変更後	備考
I-1	I.1	1.3 本文 15 行目	独立行政法人土木研究所…	<u>国立研究開発法人</u> 土木研究所…	
I-2	I.1	表 1-1 表 2 行目 金属系素地面塗装 (鉄鋼面)	合成樹脂調合ペイント塗り (鉛・クロムフリー仕様)	---	行全体を削除
I-3		表 1-3 表 4 行目 橋梁 (鋼材)・新設 (内面)	超低 VOC 塗装	---	行全体を削除
I-3	I.1	注] 2 行目	(独)土木研究所	(<u>国研</u>)土木研究所	
I-5	I.2	2.1.2 合成樹脂調合ペイント塗り (鉛・クロムフリー仕様)		---	塗装仕様 (表全体) を削除
I-6	I.2	2.1.3 弱溶剤系耐候性塗料塗り	2.1.3 弱溶剤系耐候性塗料塗り	<u>2.1.2</u> 弱溶剤系耐候性塗料塗り	
I-15	I.4	ページ下部	(独)土木研究所	(<u>国研</u>)土木研究所	
I-16	I.4	低 VOC 塗装 : …			
I-17	I.4				
I-18	I.4				

I-19	I.4					
I-22	I.6					
I-24	I.6					
I-25	I.6					
I-26	I.6					
I-15	I.4	4.1.1, } 4.3.1, } 4.4.2, } 6.2.2, } 6.4.2, } 6.5.2 } 各表 (工程)	水性エポキシ樹脂塗料下塗	水性エポキシ樹脂塗料下塗 (JIS K 5551 E 種)	JIS 番号を追加	
I-18	I.4					
I-19	I.4					
I-24	I.6					
I-26	I.6					
I-27	I.6					
I-15	I.4	4.1.1, } 4.1.2, } 4.3.1, } 4.4.1, 4.4.2 } 6.2.2, } 6.4.1, } 6.4.2 } 6.5.1, 6.5.2 } 各表 (工程)	水性ふっ素樹脂塗料中塗	水性ふっ素樹脂塗料中塗 (JIS K 5659 B 種 中塗り塗料)	JIS 番号を追加	
I-16	I.4					
I-18	I.4					
I-19	I.4			水性ふっ素樹脂塗料上塗	水性ふっ素樹脂塗料上塗 (JIS K 5659 B 種 上塗り塗料 1級)	
I-24	I.6					
I-25	I.6					
I-26	I.6					
I-27	I.6					
I-15	I.4	4.1.1 留意事項	…塗りと設定した。	…塗りと設定した。 <u>ただし、現行の水性塗料でも施工条件によって膜厚 60 μm×2回塗りができる場合もある。</u>		
I-17	I.4	4.2.1 第1層・第2層 塗装方法	エアレススプレー	はけ・ローラー		
I-17	I.4	4.2.2 超低 VOC 塗装 (内面・新設)		----	表全体を削除	
I-18	I.4	4.3.1 留意事項	…検討が必要。	…検討が必要。 <u>水性塗料は塗料中に水を含むため、鋼材面に直接塗装した場合、フラッシュラスト(点さび)が発生することがある。特に、塗装前の素地調整において、さびや汚れの除去が不十分であると、その傾向が強い。</u>		

I-20 I-21	I.5	5.1.1~5.3.2	標準使用量 kg/m ²	標準使用量 g/m ²	それに伴い、全ての標準使用量について変更（例：0.1→100）
I-24	I.6	6.2.2 超低 VOC 塗装（常時大気） 無機ジンクリッチプライマー 無機ジンクリッチペイント VOC 合計量 削減率	64 200 436 g/m ² 68%	80 217 455 g/m ² 59%	VOC 量について修正した
III-2	III.2	表題	石工事・タイル工事	タイル工事・石工事	
III-3	III.3	本文、上から4行目	…材料、施工後の環境など注意が必要である…	…材料、施工後の使用条件などには注意が必要である…	
参-1	参考資料1	付表 1-1 建築塗装 鉄鋼面 ・溶剤系塗装仕様	合成樹脂調合ペイント塗り （シアナミド鉛さび止めペイント）	合成樹脂調合ペイント塗り	
参-1	参考資料1	・環境配慮型塗装仕様 仕様名	合成樹脂調合ペイント塗り （鉛・クロムフリー仕様）	---	削除
		VOC 量	128.0	---	削除
		削減率(%)	0	---	削除
参-1	参考資料1	付表 1-1 建築塗装 セメント	アクリル樹脂エナメル塗り※2	アクリル樹脂エナメル塗り※	
参-1	参考資料1	付表 1-1 建築塗装 欄外	※2 JASS18-----	※ JASS18-----	
参-2	参考資料1	付表 1-3 構造物 鋼橋・新設（内面）・超低 VOC	64	---	VOC 量について削除した
		付表 1-3 構造物 鋼橋・新設（内面）・現行→超低	89	---	VOC 削減率について削除した

		VOC			
参-2	参考資料 1	付表 1-4 1 行目 塗料	シアナミド鉛さび止めペイント(2 種)	鉛クロムフリーさび止めペイント(1 種)	
		算出資料	JIS K 5625 加熱残分 75 以上	JIS K 5674 加熱残分 75 以上	
参-3	参考資料 1	付表 1-5 3 行目	鉛クロムフリーさび止めペイント(1 種)	行全体を削除	
		8 行目	合成樹脂調合イント(1 種又は 2 種中塗り用)	行全体を削除	
		9 行目	合成樹脂調合イント(2 種上塗り用)	行全体を削除	
参-5	参考資料 2	付表 2-3 3 行目	常温粘着工法・露出防水密着(新築のみ)	行全体を削除	
		6 行目 (記号)	AS-J2	AS-J1	
参-6	参考資料 2	付表 2-4 3 行目 (記号)	AS-J3	AS-J2	
		4 行目 (記号)	AS-J4	AS-J3	
参-9	参考資料 2	付表 2-7 6 行目 (溶剤)	---ならびに「同別表第3号第2号」の中 で---	---ならびに「 <u>特定化学物質障害予防規則第 2条 第1項 第3の2号</u> 」---	基準項目について 変更
参-9	参考資料 2	付表 2-7 7 行目 (化学物質)	---今後の対応—EXTEND 2010---	---今後の対応—EXTEND <u>2016</u> ---	基準項目について 変更
参- 25,26	参考資料 6	改訂履歴	---	6.1 改訂第 2 版(平成 27 年 3 月)の改訂内 容 -----	新規追加

(問い合わせ先一覧)

ページ	変更箇所	変更前	変更後	備考
参-27	(一社) 日本防水材料協会	(一社)日本防水材料連合会 URL: http://www.jwma.net/	(一社)日本防水材料協会 URL: https://www.jwma.or.jp/	
参-27	日本塗り床工業会	〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-12-14 ((株)エービーシー商会 内) 電話:03-3507-7176 FAX:03-3507-7178	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 14-1 ((株)菱晃 内) 電話:03-5651-0656 URL: http://nuriyuka.com/	移転

③巻末

・付表 I -1

No.	変更箇所	変更前	変更後	備考
溶剤系	塗料名	下塗り1回目 シアナミド鉛さび止めペイント(2種) 下塗り2回目 シアナミド鉛さび止めペイント(2種)	下塗り1回目 鉛・クロムフリーさび止めペイント(弱溶剤系) 下塗り2回目 鉛・クロムフリーさび止めペイント(弱溶剤系)	4行目⇒1行目へ移動
同上	JIS No.等	下塗り1回目 K5625-2 下塗り2回目 K5625-2	下塗り1回目 K5674-1 下塗り2回目 K5625-2	4行目⇒1行目へ移動
同上	工程間隔	下塗り1回目 24(2種) 6m 以内 下塗り2回目 24(2種) 6m 以内	下塗り1回目 24 1m 以内 下塗り2回目 24 1m 以内	4行目⇒1行目へ移動
同上	参考資料	日本建築学会 「JASS18 塗装工事」(2006) (塗布量は JASS18(2013)合成樹脂調合ペイント塗りに準じる)	国土交通省「公共建築(改修)工事標準仕様書」 日本建築学会「JASS18 塗装工事」 日本建築学会「環境負荷低減に配慮した塗装・吹付け工事に関する技術資料」	4行目⇒1行目へ移動

(・付表 I -2 ※変更なし)

・付表 I -3

No.	変更箇所	変更前	変更後	備考
4.2.1	塗装方法	第1層 エアレススプレー 第2層 エアレススプレー	第1層 はけ・ローラ 第2層 はけ・ローラ	上から5行目
4.2.2	行全体を削除			上から6行目
	欄外	(独)土木研究所	(国研)土木研究所	

・付表 I -4

No.	変更箇所	変更前	変更後	備考
	標準使用量	kg/m ²	g/m ²	それに伴い、全ての標準使用量について変更(例: 0.1→100)
	欄外	(独)土木研究所	(国研)土木研究所	

・付表 I -5

No.	変更箇所	変更前	変更後	備考
	欄外	(独)土木研究所	(国研)土木研究所	
現行 6.3.1	塗付け作業時の気温。湿度 の制限	(有機ジンクリッチペイントについて) 10以下	5以下	上から7行目
6.3.2				8行目
現行				9行目
6.4.1				10行目
				11行目

(・付表 II-1 ※変更なし)

・付表Ⅱ-2

No.	変更箇所	変更前	変更後	備考
33	行全体を削除			
36	防水仕様名称欄	改質アスファルトシート防水常温粘着工法・露出防水仕様(AS-J2)	改質アスファルトシート防水常温粘着工法・露出防水仕様(AS-J1)	
41	(同上)	改質アスファルトシート防水常温粘着工法・露出防水仕様(AS-J3)	改質アスファルトシート防水常温粘着工法・露出防水仕様(AS-J2)	
42	(同上)	改質アスファルトシート防水常温粘着工法・露出防水仕様(AS-J4)	改質アスファルトシート防水常温粘着工法・露出防水仕様(AS-J3)	

④おわりに

変更箇所	変更前	変更後	備考
【東京都 VOC 対策ガイド〔建築・土木工事編〕(改訂第3版)	---	本ガイドの改訂に当たっては、……	新規追加

④奥付

変更箇所	変更前	変更後	備考
登録資料番号等	平成26年度、登録第72号、環境資料第26049号	令和2年度、登録第49号、環境資料第32063号	

そのほか、

- ・「鋼道路橋塗装・防食便覧」については、「鋼道路橋防食便覧」
- ・「公共建築（改修）工事標準仕様書（建築工事編）」：平成25年版については、「公共建築（改修）工事標準仕様書（建築工事編）」：平成31年版へ変更した。